

事故報告(注意喚起)

九州地方整備局 港湾空港部
工事安全推進室

管内事務所の工事で発生しました事故について、事故発生の原因及び再発防止対策を取りまとめましたので情報提供致します。

I. 事故概要

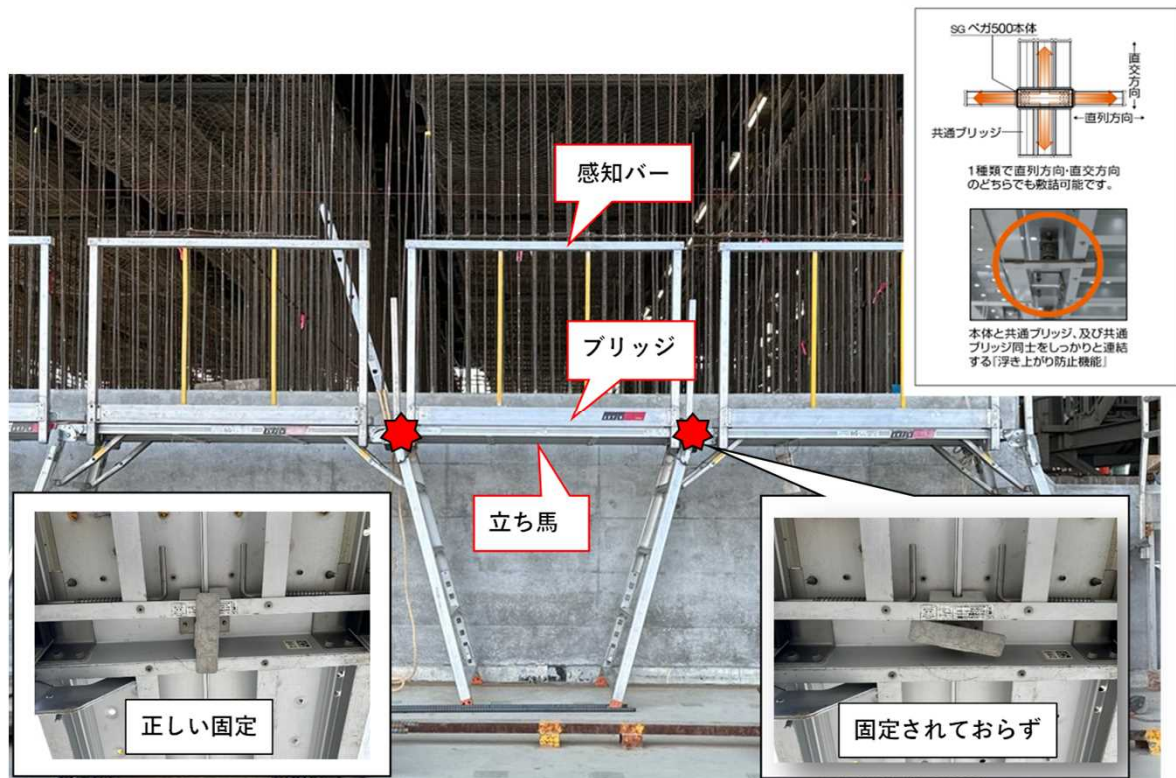
発生日時：令和7年1月21日(火) 14時54分頃

作業内容：ケーソン側壁部鉄筋振込・組立

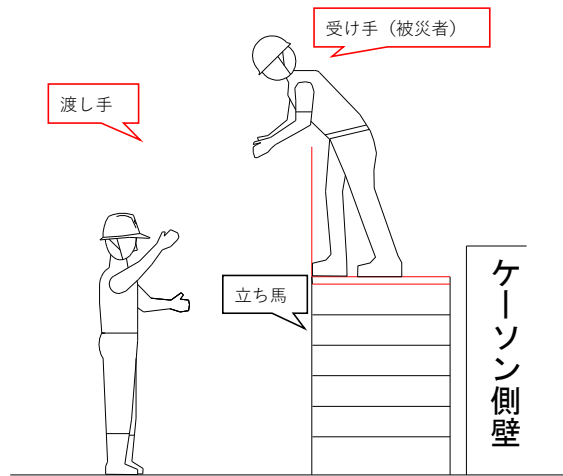
被災状況：左手橈骨遠位端骨折

II. 事故発生状況

ケーソン側壁部の鉄筋組立段取り中に、立ち馬上の被災者が、下にいる作業員から鉄筋を受け取る際、立ち馬間のブリッジの浮上り防止金具が固定されていなかったため、ブリッジが立ち馬から外れて転落し、左手を負傷した。



災害発生時の状況



転落時のイメージ

Ⅲ. 事故発生の原因

- 1) 足場組立有資格者が立ち馬・ブリッジの組立・点検を行ってから立ち馬を使用する手順で実施していたが、ブリッジの浮上り防止金具点検の見落としがあり、ブリッジが固定されていなかった。**【仮設備点検の不徹底】**
- 2) 鉄筋を受け渡す際、受け手から離れた位置で渡していたため、受け手側は身を乗り出した状態で作業を行っていた。**【作業方法の不備】**

Ⅳ. 再発防止対策

- 1) 足場組立有資格者によるブリッジの浮上り防止金具の固定と点検を徹底する。**【仮設備点検の徹底】**
- 2) 渡し手は受け手に近い位置で渡し、受け手は感知バーに体を預けずに鉄筋を受け取り、立ち馬から身を乗り出さない。**【作業方法の改善】**